

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	都市ブランド

目指す姿

●かかみがはらブランドの価値を高め、市内外に発信することにより、移住・定住促進につながっています。

●事業の達成指標

項目名	現状値	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	担当課
(主) 住み続けたいと思う市民の割合	74.5%	-	73.5%	-		-	UP	ブランド創造課
(主) 活気がある賑やかなまちと思う市民の割合	39.9%	-	41.0%				UP	ブランド創造課
(客) 地域ブランド調査による本市の魅力度	3.5点	1.4点					7.0点	ブランド創造課

●施策の方向性①かかみがはらブランドの形成

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
81101	かかみがはらブランド形成事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成27年度はシティプロモーションを計画的に推進し、市の認知度アップ、都市ブランド力の向上、移住・定住人口の増加につなげるためのシティプロモーション戦略プランを策定した。28年度から、本格的な事業展開に入る。</p> <p>○戦略プランの方針として、行政のみならず、ずまちと関係する様々な人々が協働して都市ブランドの価値を創造する「価値共創」を基本理念としている。その担い手となるサポーターズクラブなど、市民とともに進めるシティプロモーションを展開する必要がある。</p> <p>○戦略プランに位置付けているアクションプランの実施について、担当課と連携し市民参加の仕組みを構築していく。</p>	ブランド創造課

●施策の方向性②かかみがはらブランド発信

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
81201	かかみがはらブランド発信事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○市の認知度アップ、都市ブランド力の向上、移住・定住人口の増加のため、シティプロモーション戦略プランに基づき事業展開を行っている。平成27年度においては、都市ブランドの発信のため、CM（27年度3本）やショートムービーの制作、地域制作映画「きっといつの日か」の上映会などを実施し、市内外の多くの方に映像を通して各務原市の魅力を発信している。</p> <p>○達成指標である「住み続けたいと思う市民の割合」は微減となっているが、約3/4の市民が住み続けたいと考えていることから、このまちが気に入っている市民は多いと思われる。さらに、市の良さを実感する機会を増やし、定住に繋げていく必要がある。また、平成27年度に実施した映像発信の取組においては、他市町も地域創生に向けた動画制作などに取り組む中、市の動画発信などがターゲットに届きづらい部分があるため、動画制作とあわせ多面的なプロモーションを展開し、本市の魅力を発信していく必要がある。</p> <p>○移住定住ウェブサイトを開設し、SNSや市民投稿の機会を増やしていくことで、市民自らがまちの良さを実感する機会を増やし、シビックプライドの醸成につなげ、住み続けたいと思う市民の増加に結びつける。また、市外においては大都市圏を中心に移住フェアなどを展開していき、地域ブランドの向上につなげていく。</p>	ブランド創造課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	工業

目指す姿

●市内における次世代産業が発展するとともに、企業が持つ技術力・開発力が高度化されることにより、県内トップのものづくりのまちとして成長しています。

●事業の達成指標

総合計画 達成指標名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
(主) 支援企業の満足度	81.0%	66.7%		-		-	UP	産業政策室
(客) 製造品出荷額等（年間）	6,707億円	6,903億円					7,000億円	産業政策室

●施策の方向性①企業誘致と市内企業の活性化

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
82101	ビジネスマッチング事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○航空機、ものづくり基盤技術、医療福祉機器の大規模展示会へ出展し、多くの商談機会が生まれたが、企業はよりビジネスに直結する商談機会（マッチング）を求めている。</p> <p>○展示会に継続して出展する企業がある一方で、これまで出展を考慮しなかった企業も多数存在する。こうした企業にも出展機会を提供し、販路開拓・拡大につながる支援をする必要がある。</p> <p>○企業の満足度をさらに上げていくため、企業との意見交換を密にし、企業側のニーズにあった展示会出展支援を行う。また、現在出展している展示会のほかにも効果が見込めるものを検討するとともに、ブースでの展示のほか、個別のマッチング支援を実施するなどしてビジネスマッチングを促進する。</p>	産業政策室

82102	企業立地支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市内製造業は概ね堅調に推移しているものの、現在、テクノプラザ地域については売却する用地が無く、新たな企業誘致が困難な状況にある。</p> <p>○現在、主だった工場用地がないため、企業の立地問合せに対応出来ておらず、企業誘致の機会を損失している可能性が高い。</p> <p>○小規模、あるいは工業団地外の用地を把握することで機会損失の防止に努める。</p>	商工振興課
82103	企業活性化支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○隔年で開催される県内最大の産業見本市であるものづくりテクノフェアに出展し、市内産業のPRを行った。</p> <p>○平成28年度はものづくりテクノフェアを開催しない年に当たるため、次年度の準備作業を行う必要がある。</p> <p>○市内産業の掘り起こしのための企業訪問を行うとともに、ものづくりテクノフェアの主催者である岐阜県工業会と連絡調整を行い、より効果的な事業実施のための検討に入る。</p>	商工振興課
82104	各務原市小口融資助成事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○岐阜県信用保証協会の信用保証制度を活用し、資金面から市内中小企業の経営安定化を図っている。事業者からの融資依頼後速やかに保証料補助の案内を行うほか、条件に基づき完済した者に対しては速やかに利子補給制度の案内を行い事業者の負担を軽減している。</p> <p>○融資件数の増加と迅速化を目途として融資審査会を廃止したことにより、信用保証協会や金融機関等との情報共有の機会が限られている。そのため、事業者が効果的に本制度を活用できるよう連絡調整を密にする必要がある。</p> <p>○信用保証協会を招いた情報交換会を開催するとともに、金融機関との連携を密にする。</p>	商工振興課

●施策の方向性②ものづくりの高度化

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
82201	ものづくり高度化支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○金融機関等と連携したセミナー開催（国等施策情報、最新産業動向等）により、市内外の企業等への効果的な情報発信を行った。また、市内企業の国等施策の活用を支援し、企業の課題解決を促した。</p> <p>○市内企業に対して各種施策情報を提供し、その活用を支援している。今後も一層の情報提供に努め、さまざまな企業の支援を実施する必要がある。</p> <p>○企業訪問などにより、企業が求める情報を提供する。また、市内企業が持つ技術などの情報を外部に向けて発信していく。</p>	産業政策室

●施策の方向性③産官学の連携強化

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
82301	産学官連携推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○産学官共同で次世代産業に関するセミナーを開催し、企業への情報提供を実施するとともに懇親会で意見交換を行った。岐阜工業高等専門学校・各務原商工会議所との共同プロジェクトとして、産業・農業祭会場（かかみがはら航空宇宙科学博物館）で、ツアーガイドロボットの実証実験を実施した。</p> <p>○企業が技術ニーズを大学・研究機関に向けて発信するのは難しいと考えられ、企業ニーズと大学等がもつシーズのマッチングを促進するためには、一層の情報交換・意見交換を図る必要がある。</p> <p>○企業ニーズを的確にとらえるため、市内企業との意見交換を密にし、産学官が会する交流会へ参加するなどして情報を得ながら、研究機関・大学シーズとのマッチング支援を促進する。</p>	産業政策室

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	商業

目指す姿

- 地域に根つき、市民や地域のニーズに対応した商業・サービス業が創出されています。
- 身近に魅力的な商店があり、市民が買い物をしやすい環境が整備されています。

●事業の達成指標

総合計画 達成指標名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
(主) 創業塾参加者の満足度	76点	87点		-		-	UP	商工振興課
(主) 商店主等の満足度	68.8%	-					UP	商工振興課
(主) 食料品などの買い物に不自由を感じない市民の割合	80.4%	-	75.7%				UP	商工振興課
(客) 創業塾参加者数（年間）	20人	29人					20人	商工振興課

●施策の方向性①商業・サービス業の振興

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
83101	商業活性化支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○各務原商工会議所と連携を図りつつ、商店街等の支援に取り組むほか、平成27年度においては、市内2箇所です市民や事業者による買い物支援策検討ワークショップを開催した。また、民間事業者による移動スーパーの取り組みも開始している。</p> <p>○高齢化の進展や個々の商業施設の状況等様々な外的要因が影響し、商業振興施策の効果が直接現れにくい部分もあるが、買い物環境が悪化する大きな要因は見受けられない。また、市や国の補助金が商店街の活性化に寄与しているのか考察する必要がある。</p> <p>○商店街や店主との意見交換を積極的に進めていくことにより、店主の生の声を拾い上げ商業活性化支援事業を実施していく。</p>	商工振興課

●施策の方向性②新たな事業や起業への支援

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
83201	起業支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○景気回復傾向により、創業希望者は増えている。また、創業支援事業計画の策定により、他の機関でも支援事業が豊富になっており、気軽に創業の相談をしようとする流れができつつある。今後も計画のブラッシュアップや各支援機関の調整等を行い創業マインドの喚起に努め、創業計画の主軸であり、創業に必要な知識をひと通り学ぶことができる創業塾（各務原商工会議所主催創業セミナー）への参加を促していく。</p> <p>○他の機関でも支援に力を入れるようになり、セミナーが乱立しているため、今後は、セミナー参加者の確保や創業希望者の掘り起こしが課題となる。</p>	商工振興課
83202	クラウドファンディング事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成27年11月から関市・美濃加茂市・各務原市の3市が連携しサイト運営を開始した。平成27年には各務原市関連のプロジェクト1件（まちおこし映画の制作・上映）が目標金額の調達に成功した。従来の市の補助制度等では支援が困難であった市民主体プロジェクトの資金調達を支援することができ、地域の活性化に繋がった。</p> <p>○今後、クラウドファンディングサイトを使用して、プロジェクトに挑戦したいと考える人、プロジェクトを支援したいと考える人双方の母数を増やし、活気あるサイトを運営していく必要がある。</p> <p>○各務原・関・美濃加茂の3市間の連携や、サイト運営会社との連携によるプロジェクトの発掘、サイトの広報を継続する。また、平成28年度に開設した「かかみがはらビジネス相談窓口」を活用した広報に取り組む。</p>	産業政策室

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	観光・交流

目指す姿

- 交流人口が増えることにより市内が活性化されています。
- 観光資源のブランド力が高まり、市内外に本市の魅力が伝わっています。
- かかみがはら航空宇宙科学博物館や河川環境楽園の来訪を通じて、本市に魅力を感じています。
- 国内外の都市との交流が活発に行われ、教育、文化、産業などで活力が高まっています。

●事業の達成指標

総合計画 達成指標名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）活気がある賑やかなまちと思う市民の割合	39.9%	-	41.0%	-		-	UP	ブランド創造課
（客）観光入込客数（年間）	576万人	660万人					576万人	ブランド創造課

●施策の方向性①魅力ある観光プランの充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
84101	観光施設改修等整備事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○観光客誘客においては観光地のインフラ整備（トイレ等）は重要な要素である。おがせ池周辺地区は観光地そのものとしての機能のほか、近隣のハイキングコースの発着場所等の観光拠点としても活用されているが、トイレについては老朽化が進んでいた。観光拠点としての機能を強化するため、平成27年度から平成28年度にかけて改築を行っている。</p> <p>○おがせ池西の観光トイレの整備について、当初27年度中の修繕を見込んでいたところ、完全バリアフリー化への対応のため改築に切り替えたこと、改築にともない用地買収が必要になったこと等により、完成時期に遅れが生じている。</p> <p>○おがせの花火大会がある7月には確実に完成するよう工事を進める。この時期は多くの誘客が見込め、トイレ整備による拠点機能強化を多くの来場者に知っていただくこと等によって、リピーター獲得を図り、観光客数の増加に繋げる。</p>	ブランド創造課

●施策の方向性②観光資源のブランド化

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
84201	各務原キムチ推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○地域の資源として一定程度定着している各務原キムチの認知度向上、ブランド化をさらに進めるため、イベントへの出展等により市内外へ発信している。</p> <p>○市内外への各務原キムチブランド浸透のため、イベント等において「各務原キムチ鍋」を出品してきたところではあるが、夏期のイベントにおいては来場者への訴求力が弱く、年間を通してのPRに課題がある。</p> <p>○新たに「各務原キムチカレー」などをイベント用に開発し出品することで、年間を通じた訴求力向上を図り、各務原キムチブランドのさらなる強化を進める。</p>	ブランド創造課
84201	各務原ブランド創出イベント事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○平成27年度においては、年間を通じて週末の気候がよかったこと等により、特に河川環境楽園において多数の観光客が来訪した。桜まつりや河川環境楽園夏フェス、おがせ池夏まつり等年間を通じたイベントを実施し、多くの観光客の来訪を図っている。</p> <p>○近年の法改正や社会情勢の変化により、安全確保等の主催者として果たす必要がある義務が増加し、それに伴う運営体制の見直しが必要となっている。</p> <p>○法令や関係機関の指導に対応する運営体制を整えることにより、観光客が安心して来場できる環境をつくるとともに、来場者の満足度向上を図る。</p>	ブランド創造課

●施策の方向性③観光振興に向けた連携の強化

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
84301	広域観光推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○観光先進地である犬山市と連携しイベントを開催することにより、犬山市の持つ発信力との相乗効果による誘客を図っており、多くの来場者が訪れている。</p> <p>○イベント開催時には多くの観光客が訪れるものの、来場された方のリピート率を上げ、年間を通じた観光客数の増加に結び付けていく必要がある。</p> <p>○鶯沼宿ボランティアガイドの活動（市内史跡巡りウォークシールラリーの実施等）との連携により、リピート率を高める。</p>	ブランド創造課

●施策の方向性④かかみがはら航空宇宙科学博物館の充実

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
84401	航空宇宙科学博物館リニューアル事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○岐阜県とともに航空宇宙科学博物館のリニューアルに取り組んでおり、基本構想、基本計画、建築設計、展示基本設計を完了した。リニューアル後の入館者数の増加に向けて、気運醸成イベントを実施している。</p> <p>○現在の博物館は、開館当初のコンセプトと展示との乖離や体験型設備の老朽化など課題が顕在化してきている。博物館リニューアル基本構想に掲げた、日本の航空宇宙技術史を俯瞰する場、子どもたちに感動を与える場等のコンセプトに基づき、魅力を向上させる必要がある。</p> <p>○岐阜県と連携しながら施設の増築、展示の充実等のリニューアルを実施するとともに、教育・体験プログラム等のソフト事業の拡充や気運醸成イベントを実施することで魅力の向上を図る。</p>	航空宇宙科学博物館リニューアル推進室
84402	航空宇宙科学博物館整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○当館の施設長寿命化計画に基づき、計画的な修繕工事等を実施している。</p> <p>○リニューアル事業の実施に伴い、今後、施設の長寿命化計画の見直しが必要である。</p> <p>○リニューアル事業の推進とともに、リニューアル後の施設・設備の維持管理のための整備事業計画を再検討していく。</p>	航空宇宙科学博物館
84403	モノづくり教室事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○体験型の事業を提供するモノづくり教室の内容の充実と航空宇宙科学博物館来館者へのPRにより、参加者、博物館入館者数とも増加傾向にある。</p> <p>○平成28年10月からのリニューアル工事に伴い、一時閉館期間が生じるため、工事期間中は博物館でモノづくり教室を開催できなくなることが想定される。</p> <p>○リニューアル工事期間中もリニューアルPR事業を進めるとともに、市内の代替地で開催できるモノづくり教室は継続的に実施し、博物館の魅力を発信していく。</p>	航空宇宙科学博物館

●施策の方向性⑤都市間交流の推進

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
84501	都市間交流事業	目標値に対し、順調に進んでいない	<p>○友好都市である敦賀市との交流を進めるため、相互訪問や宿泊費助成を行っている。</p> <p>○宿泊費助成は一定程度市民に定着している事業であり平成27年度は280名の利用があったが、983名の利用があったピーク時（平成15年）に比べて低下している。</p> <p>○市民休養の郷利用助成を通して、各務原市への観光入込客数を増加できるよう連動していくことが望ましいが、各務原市からの一方通行的な助成制度のみでは入込客数の増加は困難であるため、助成制度の有効性、あり方について検討していく。</p>	ブランド創造課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	農業

目指す姿

- 農業の担い手となる人材が育ち、農業経営基盤が強化されることにより、優良な農地が確保、保全され、安定的な農業経営が確立されています。
- 市民が地元産の農産物への理解を深め、地産地消が根づいています。
- 適正な森林整備により森林の多面的機能が維持されています。

●事業の達成指標

総合計画 達成指標名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）地元産の農産物を意識して購入する市民の割合	41.9%	-	41.8%	-		-	UP	農政課
（客）担い手の耕作面積	138.7 h a	169.8 h a					200.0 h a	農政課

●施策の方向性①農地の保全と活用

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
85101	農地保全活用推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○農地パトロールなど農地の適切な現状把握と管理指導により、優良農地の確保と保全に努めた。</p> <p>○農業従事者の高齢化や後継者不足などにより、遊休農地の発生が予想される。</p> <p>○農業委員、農地利用最適化推進委員、農地中間管理機構など関係機関と連携を図り、担い手への農地利用の集積・集約化を推進して優良農地を確保する。</p>	農政課

●施策の方向性②新規就農者の育成

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
85201	担い手育成事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○国や県と連携し青年就農給付金（補助事業）を推進しており、県や農業協同組合等、関係機関と連携を図り、制度のPRを進めている。その結果給付金制度に関する農家等からの問い合わせがあるなど、事業は徐々に認識されつつある。</p> <p>○新規就農を目指すにあたり、耕作機械や圃場の確保、更には様々な申請手続き（書類作成）が必要であり、希望者にとって煩雑である。</p> <p>○県、農業協同組合等と情報共有を図り、新規就農制度等の様々な相談窓口として農政課を気軽に訪れ、補助制度等の情報を生かしていただけるよう支援を進める。</p>	農政課

●施策の方向性③農産物の生産支援

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
85301	安全・安心農産物生産支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○農作物の安全を確保するため、残留農薬等自主検査費用補助事業等の実施により、農薬使用量の削減を推進する活動が展開される等、安全意識が向上している。</p> <p>○「ぎふクリーン農業登録面積」は、既に一定の面積を確保しているため、今後は、啓発を継続して行うとともに、この面積を維持し続けていくことが必要であると考えられる。また、県や農業協同組合との連携を図り、地元産農産物の安全性を市場と消費者にPRする必要がある。</p> <p>○積極的な残留農薬の自主検査を啓発するとともに、市民に地元産農産物を意識して購入していただけるよう、県や農業協同組合との連携を図り、地元産農産物が「安全・安心」であることを啓発する。地元産農産物には、人参の他にも、キャベツやなす等、年間を通じて様々な品目が出荷されている。県、農業協同組合及び商工会議所等との連携を強化し、地元産農産物を小売店でもPRしてもらい、消費者に積極的に購入していただくような工夫を行うとともに、啓発イベント、小学校等への出前講座を実施する。</p>	農政課

●施策の方向性④農業基盤整備の推進

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
85401	農業生産基盤整備事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○農業用水の安定供給のため、堰・揚水機、ため池等の農業施設の維持管理を適切に行い、大きな損失を未然に防ぐ。</p> <p>○用水の使用時には工事ができないため、工事期間が限定される。また、農事改良組合や自治会から毎年多くの要望が提出され、その内容が多様化してきている。</p> <p>○設計業務委託を早期発注させることで、水田終了直後に工事が着手できるよう、前年度から準備をする。また、要望の内容を十分に把握し、また費用対効果や整備手法等を勘案することにより、一つでも多くの要望に応えていきたい。</p>	農政課

●施策の方向性⑤地産地消の推進

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
85501	学校給食地産地消推進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○当事業の継続実施により、学校給食における、安全・安心な県内産農産物の積極的活用が、順調に展開されている。</p> <p>○より一層の推進を図るためには、教育委員会や学校給食会との調整が必要である。</p> <p>○少しでも多く、県内農産物を使用していただけよう、農業協同組合との連携も図りつつ、教育委員会や学校給食会との調整を進めていく。</p>	農政課
85502	市民農園運営事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○市民向けに農園を提供しているが、複数年度更新して利用されている方もおり、開設の目的を現状果たせていると考えている。また、新規で利用される方も多数おり、多くの方が市民農園に興味を持っている。</p> <p>○一部雑草等管理が不十分な利用者があり、適正な利用が求められる。また、西側地区（那加、蘇原地区）は農園区画数が少なく不足している。</p> <p>○定期的に農園の状況を確認して、適正な管理をしていただくように努めていく。また、東側地区（鵜沼地区）は若干農園利用に余裕があるため、東側地区における利用を促していく。</p>	農政課

●施策の方向性⑥農商工連携の促進

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
85601	農商工連携促進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○県等と連携し、6次産業化を推進しており、関係機関と連携を図り、PRを進めている。その結果、少しずつ問い合わせもあり、事業は徐々に認識されつつある。</p> <p>○6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定のためには、様々な申請手続き（書類作成）が必要であるほか、機械や圃場の確保等が必要であり、希望者にとって煩雑である。</p> <p>○県等と6次産業化についての情報共有を図り、当事業に関する様々な相談窓口として、農政課を気軽に訪れ、補助制度等の情報を生かしていただけるよう支援を進める。</p>	農政課

●施策の方向性⑦森林の保全と活用

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
85701	森林保全事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○森林の持つ多面的機能の回復を図り、補助金を利用した里山林整備により、計画された地域の不用木の除去を実施した。また、山林の遊歩道管理や有害鳥獣駆除等を通じて、森林の多面的機能の維持・増進に努めた。</p> <p>○現在の森林をとりまく状況を踏まえると、森林所有者が個人で森林整備を実施することは困難であることから、今後も森林の多面的機能を維持していくための方策が必要である。</p> <p>○里山林整備事業、森林病虫害駆除等事業、野生動物保護管理事業等による各種補助金を用いながら、継続的に整備を実施していくことが必要である。</p>	農政課

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	賑わいと創造性を感じる活力あるまち（産業）
施策の柱	雇用

目指す姿

- 働く意欲のある人材が集まり、活力に満ちた産業活動が展開されています。
- いきいきと働けるよう、求人・求職の環境が整備されています。

●事業の達成指標

総合計画 達成指標名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）求職活動の環境が整っていると 感じている市民の割合	18.2%	-	18.9%	-		-	UP	商工振興課
（主）雇用対策懇談会参加企業の満足 度	66.7%	87.5%					UP	商工振興課
（客）航空宇宙産業総合人材育成事業 セミナー市内受講者の延べ人数	327人	332人					350人	商工振興課
（客）雇用・人材育成推進協議会の会 員企業数	86社	85社					90社	商工振興課

●施策の方向性①多様な人材の育成

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
86101	企業人材育成支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○航空機産業の製造現場で働く人材の育成に取り組んでおり、受講者の技能向上を図っている。</p> <p>○航空機産業に携わる企業では、今後のボーイング777改良機や787の増産に対応出来る人材の確保、育成が急務となっており、企業人材育成支援事業においても、企業ニーズに応える講座・研修を行う必要がある。</p> <p>○国が主導で開発した航空機産業人材育成プログラムを新たに本事業に組み込み、業界ニーズに応える。</p>	商工振興課

●施策の方向性②次代を担う人材の育成

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
86201	次世代人材育成事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○本市の特徴的な産業に焦点を当て、小学生の企業見学プログラムの作成に取り組み、参加者が市の産業に関心を持っていただけるよう努めている。参加者、受け入れ企業とも満足度が高く、次代を担う人材の育成に寄与している。</p> <p>○参加する小学生が本市の産業や企業に関心を持ち、将来活躍いただけるよう、本事業を更に充実させるための見学プログラムの検討を行う必要がある。</p> <p>○順次、新たにプログラムに参加いただける企業の掘り起こしや、コース見直しの検討等を行う。</p>	商工振興課

●施策の方向性③農産物の生産支援

事業番号	事業名	担当課評価	現状分析・課題・対策	担当課
86301	雇用確保促進事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○雇用・人材育成推進協議会と連携しながら、女性高齢者雇用確保事業やUIターン就職企業説明会を行っており、参加者アンケートの結果では、満足度は高い。</p> <p>○各企業で希望する就労方法や求める人材が異なるため、女性や高齢者、中途採用、新規学卒者、第二新卒等、さまざまな求職者と企業・事業所を結びつけ、労働力の確保につなげる展開が必要である。また、フルタイム、パート、さらに短い労働時間での就労など働き方も多岐に亘っており、労働条件を一人ひとりに合わせていくという流れになりつつある。</p> <p>○雇用・人材育成推進協議会会員は1増2減と、雇用対策として、新たに加入する企業がある一方、雇用を本社一括で行うため退会される企業もある。市としては、企業のニーズを把握し、雇用・人材育成推進協議会への加入を促すとともに、さまざまな機関と連携しながら、より効果の高い事業を展開する。平成28年度においては、様々な地域の工業系学生の市内企業就職を促していく。</p>	商工振興課
86302	雇用機会創出事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<p>○シティハローワーク各務原（CHW）を国と共同運営することにより、市は少ない予算で職業紹介業務や市独自のデータを持つことができるなど、メリットは大きい。また、市内に本社がある企業の求人票はCHWでのみの受付であるため、企業の利用率は高い。通常の運営のほか、現状の人手不足感の緩和に向け、岐阜公共職業安定所と連携して企業説明会を新規に開催するなど、求職者と企業をつなぐ取組も行っている。</p> <p>○再就職が決まりやすい状況となり求職者は減少傾向にある。また、様々な支援機関が就職支援事業を展開する中、国と共同で運営しているCHWの強みを生かした事業を展開する必要がある。</p> <p>○雇用に関連して、様々な主体が実施する事業の洗い出しや情報の整理を行うとともに、本市ならではの事業展開のため、国との連携をより強化する。</p>	商工振興課

86303	勤労者生活支援事業	目標値に対し、順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none">○景気回復ムードに伴い、住宅購入希望者が増加しつつあると考えられる中、平成27年度は住宅資金融資で3件の実績があった。○引き続き勤労者の生活安定のため、住宅建設等に要する資金、生活資金の融資斡旋を行う本制度の継続により、勤労者の生活安定に努めていく必要がある。○金金融機関と連携し、本制度運用を継続するとともに、広報紙等へ記事掲載を行うなど制度活用希望者に本制度の情報が届くよう周知に努める。	商工振興課
-------	-----------	-----------------	--	-------